

会 議 名	平成31年度 第1回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	平成31年4月24日（水）午後10時～12時まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ3階会議室A
委 員	（出席者）鬼沢座長、猿子委員、福吉委員、木原委員、櫻林委員、関根委員、山田委員、大駒委員、中林委員（新任）、西川委員、重富委員（新任） （欠席者）荒井委員、石曾根委員、島村委員、茂木委員
事 務 局	福田係長、藤野、鈴木
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	区挨拶 1. 意見交換 （1）平成31年度3R推進事業の進め方について （2）「エコライフ・フェアMINATO2019」出展について （3）リユース♡ブリッジの開催について （4）段ボールコンポスト出前講座の実施について （5）食べきり強化月間パネル展示会の開催報告について （6）「みんなと3R」ホームページとSNSについて （7）親子向けエコ料理教室の開催について 2. その他
主な発言・報告内容	
<p>●港区挨拶</p> <p>4月1日より、加茂清掃事務所長の後任となりました。日頃から3R事業ご協力をいただき、ありがとうございます。区では清掃事業の様々な3R関連の取組を行う予定で、推進行動会議を年4回、実践部会を年2回実施予定です。会議が有意義なものになるように、また、区内のプラスチックごみの対策、およびその他再生可能紙の名称などの推進の啓発などに取り組みたいと思います。</p> <p>●新任委員挨拶</p> <p>新任委員のご挨拶の後で、継続される委員の皆様からも一言ずつご挨拶いただきました。</p> <p>1 意見交換</p> <p>（1）平成31年度3R推進事業の進め方について</p> <p>●事務局からの説明</p> <p>今年度は特にSNSに注力をし、様々な情報を積極的に発信することを試みます。（詳細は後述）また、新規事業としてイベント時におけるフードライブの実施や、街頭での普及啓発、リユース食器の助成などを行い、3Rの推進を行います。</p>	

●主な発言

- ・特になし

(2)「エコライフ・フェアMINATO2019」出展について

●事務局からの説明

5月18日(土)に有栖川公園で開催される、エコライフ・フェアMINATO2019に出展します。3R推進行動会議ブースでは、その他再生可能紙等に関するパネル展示やクイズ、ガラポン抽選会を実施します。

また、みなとリサイクル清掃事務所と共催して家庭で不用になった古着・ふとん・廃食用油・使用済み小型家電製品・不用園芸土の資源回収を実施します。

●主な発言

- ・フードドライブ自体知らない人が多く、私も知らないので説明してほしい。フードドライブの実施の詳細を、ホームページやSNSで周知したほうがよいのではないか。また、フードドライブに参加しなくても、来場者にはパネル等で説明したほうがよい。(委員)

→フードドライブは、缶詰、レトルト食品、米等未開封の食品を条件として集めて、食品を必要としている人にフードバンクを通じて寄付する活動のこと。直近ではエコライフ・フェアMINATOで実施を予定しており、ブースに受付窓口を設けて、食品を安全性などをチェックしながら受け取る。(事務局)。

- ・フードバンクとは何が違うのか。(委員)

→公共施設等で未使用食品を集める活動がフードドライブであり、集めた食品を困った人に配布をするNPO等がフードバンクである。その定義についても認知度が低い。(座長)

→集める食品の条件も厳しいので、事前に周知をしたほうがよい。(委員)

→清掃事務所でも常設の窓口を解説しており、ホームページでもルールを掲げている。イベント会場でフードドライブがどういうものかという紹介と、NPOに預けるまでの流れを紹介したい。

持参いただいた食品が基準に該当しないということもあるので、ホームページやSNSなど、文字の制限のない媒体で紹介する。(委員)

→今回のイベントにおけるフードドライブだけでなく、来年実施する際に食品を持ってきてもらうために、告知を行うことが重要である。(座長)

- ・エコライフ・フェアで回収している布団や小型家電は、清掃協力が実施しているバザーでは扱っていないため、回収していただけるのはありがたい。だが、回収を行っていることの周知方法が、広報紙などに限られる。私たちのバザーはポスターなどを掲示板に掲載しているが、事前の広報はどの程度行うのか。(委員)

- ホームページなどの告知の掲載を予定している。(事務局)
- 高齢者はホームページを見ないし、パソコンを持っていない人もいる。高齢者でも見られるように、掲示板に掲載できるポスターなどをいただくとありがたい。(委員)
- 清掃協会のバザーは、各町会に掲示板に貼れるポスターなどを配布し、周知している。一般の方に広く見てもらうための手段はないか。(委員)
- エコライフ・フェアのチラシなどに、回収している事を周知している。町内の掲示板には環境課がエコライフ・フェアのチラシが配布されている。資源の拠点回収については、分別ガイドブックにも掲載されている。(事務局)
- 高齢者が坂を登ってあの会場まで持っていくこと自体が難しい。平時から清掃事務所で拠点回収を行っているならば、その告知等も拡充していただきたい。拠点回収についてもう一步踏み込んでいただきたい。(委員)
- ポスター以外で知らせる方法を検討したい。(事務局)

(3) リユース♡ブリッジの開催について

●事務局からの説明

毎年実施しているリユース♡ブリッジを今年は6月に開催することとなりました。毎年エコプラザでは冬季に開催していましたが、年末から工事のため、夏季に開催します。また、夏季の開催は猛暑が想定されるため、例年より1ヶ月前倒しで開催することとしました。

●主な発言

・交換を前提とすると、同じ世代にしか洋服が手に行き渡らないため、服を不要としている人がこのイベントのために服を提供することができない。子どもが成長し、不要になった子ども服やおもちゃが家にあり、機会があれば、このイベントのために提供したいという人はいると思う。譲りたい人に、子ども服やおもちゃの回収を行っていることを周知することが重要である。例えばエコライフフェアで告知を行うなど、回収する機会を設ければ提供してくれる人もいないか。(委員)

・リユース♡ブリッジで事前の持ち込みは行っているか。(委員)

→エコプラザで実施する際は事前の持ち込みを受け付けている。5月頃から広報を行い、6月上旬に受付を開始する。

これまでのアンケートで「服の状態が悪い」という意見をいただいているため、服の入れ替えを検討している。リユース♡ブリッジの開催とは別に、エコプラザで服の回収ボックスを設置予定である。(事務局)

・回収ボックスでは、靴やおもちゃなど、服以外のものも回収するのか。(座長)

→おもちゃは確認を要するが、靴は回収する予定である。(事務局)

・持参した服などで、状態の悪いものはどうするのか。(委員)

→状態が悪いものは回収するが、点数には数えない。イベント後に余ったものは次のリユース♡ブリッジで活用する。(事務局)

・回収できない服等の基準や、今回のイベントで余った服等をどのように活用するか等の周知ができれば、服等を提供しやすいのではないか。(委員)

・清掃協力会のバザーでは、自分たちが手に取りたいと思うかどうかを判断基準としている。(委員)

・バザー出展に際し、状態の悪いものは業者に回収してもらい、ウエスなどにリユースしている。(委員)

・残った服等の在庫整理は毎回行っているのか。(委員)

→残った服等は次回開催時に状態を確認して、次のイベントに出している。(事務局)

・回収ボックスを設置する際に、どのサイズが足りないかを提示してはいかがか。(座長)

・子どものおもちゃなどはキャラクター等の流行りもあり、おもちゃや靴などに用いられるゴム類は経年劣化も生じる。また、何回も選ばれないで残っている服等もある。残っている服等にはシールを貼って、管理しやすくする工夫が必要である。1、2年を上限にして、その後は児童養護施設など必要としている施設に寄付をしてはどうか。(委員)

→管理期間について別途検討する。(事務局)

(4) 段ボールコンポスト出前講座の実施について

●事務局からの説明

今年度も、区内いきいきプラザと連携した出前講座を複数回実施します。出前講座はいきいきプラザが実施する「カラオケ教室」や「体操教室」等の後に、30分程度で段ボールコンポストについて説明するものです。今年度は4か所の開催が決まっており、残り2か所で実施予定です。

●主な意見

・出前講座の受講者は多いが、その後参加者が実際に取り組んでいるのか。コンポスト機材などを無償で配布しているが、区民の関心はまだ薄いので、区民に上手にPRする手段はないか。(委員)

・取組自体がいいことであることはわかるが、区内の地理的な問題も考えたほうがいい。今年度実

施予定の西麻布と青山は、距離が近く、曜日を変えて両いきいきプラザを利用している人もいるので、対象者が重複する可能性がある。また、マンションのベランダに植物を植えられない地域もあるので、環境にいいという理解は得られても、その後の継続には結びつかないことが多い。若い人と接点を持つ機会が出前講座を実施することはできないか。(委員)

・子育て中の家族などは生ごみがよく出るが、一人暮らしなどではあまり出ない。(座長)。

・親子向けの出前講座は、夏休みの宿題に活用できるような方法で実施するのか。(委員)

→そのような方法で実施を予定している。(事務局)

・段ボールコンポストをこれまで知らなかったが、一人暮らしの方ではできないと思った。人が集まるいきいきプラザと連携して実施を始めたことは啓発の面では効果があるかもしれないが、できない人に対して普及を行うことに意義はあるのか。できる環境がある人に普及を続けた方がいい。(委員)

・人が集まる会場でのみ実施し、少人数しか集まらないところは、実施しなくてもいいのではないか。(座長)

・年間でどの程度の量の堆肥ができるのか。大きな花壇を持っている人であればよいが、小さなベランダしか植物を育てる環境がない人たちには、コンポストに取り組む意味があまりないのではないか。できた堆肥の活用方法を普及したほうがよい。(委員)

・小学校や区有施設などの大きな花壇があるような地域を抽出し、そのエリアで集中的に講座を実施してはどうか。費用対効果が高くなるように、対象者を変更して実施することも必要である。(委員)

・講座をいきいきプラザと連携して開催しているので、高齢者の参加者が多くなるのは必然である。委員の皆さんのご意見を踏まえ、今年の残り2回の実施の内容を含めて再構築したい。(委員)

・戸板女子短期大学と連携したエコ料理教室との連携も検討できる。また、各総合支所にできた堆肥の回収ボックスを作ってみてはどうか。年2回程度で回収をしてくれる仕組みを作ってもよい。出来上がった堆肥の受け入れ先なども検討していただきたい。(委員)

(5) 食べきり強化月間パネル展示会の開催報告について

●事務局からの説明

高輪地区総合支所協働推進課で実施している高輪地区内3大学(北里大学、東海大学、明治学院

大学)との連携事業の一環として、みなとリサイクル清掃事務所と共催で、食べきり強化月間にあわせて、食品ロスに関するパネル展示会を実施しました。

この時期大学では、サークルやゼミナール等での歓送迎会シーズンにあたるため、宴会での「30・10運動」を中心に啓発を行いました。

●主な発言

- ・特になし

(6)「みんなと3R」ホームページとSNSについて

●事務局からの説明

今年度も昨年度と同様に3Rの認知度向上を目的とし、イベントの告知や開催報告だけでなく、3Rに関する取組に親しみを持ってもらえるようにSNSを活用します。先述のとおり、今年度はSNSに注力をし、定期的な情報発信を目指します。現状のみんなと3RのSNSでは、認知があまりされていないこと、閲覧者が少ないことが課題として挙げられるので、それらを踏まえつつイベント等でSNSの広報を行い、閲覧者の増加を目指します。

●主な発言

- ・Webサイトは今後どのような扱いとなるか。(委員)

→リサイクル家具展の紹介などの投稿を行うほか、SNSの最新の投稿が掲載されるようにリンク付けを行う。(事務局)

- ・エコプラザの講座は人気があるので、募集中にリンクを付けてSNSの宣伝をしてはどうか。あとは不要な服をお得な情報としてSNSで投稿し、これらのイベントなどを足がかりとして3Rの展開を繋げていくことが望ましい。積極的に楽しいイベントや情報を告知し、3Rに関心のない人にも知ってもらいたい。(委員)

- ・SNSの拡充は課題が多いが、チャレンジしてほしい。内容の拡充も重要で、エコ料理のレシピなどの役立つ情報や、キャラクターの画像などもリツイートしてくれる。リツイートすることで多くの人たちに拡散するので、ただ発信するだけでなく、引用してもらえる情報を提供することが大事である。他の団体がいい取り組みをしているときに、リプライをしてもいいのではないか。(委員)

- ・SNSは様々な種類があるが、国内におけるSNSのフォロワーの増加を考えるならば、Instagramを行ってはどうか。Instagramは20~40代の利用者が多いので、その層のフォロワーを増やしてはどうか。(委員)

→SNSは種類によって、見る人や年齢層も異なる。現状FacebookとTwitterを実施している中で

Instagramはすぐに対応できる状況ではないので、今後の検討事項になる。(事務局)
 →現状のFacebookとTwitterのフォロワー数なども見ても、現状では実施していないに等しい状態である。今年1年間SNSの発信に注力し、その中で検討を行いたい。(委員)

【用語注釈】

リツイート	Twitterで気に入った他者の投稿を引用し、自身で再発信すること。様々な人がリツイートすることで、より多くの人に引用元の投稿が拡散される。
リプライ	投稿に対する返信。
フォロワー	Twitterで自分の投稿(ツイート)をチェックできるように登録をした人。Twitterでは気に入った相手を登録(フォロー)することができ、フォローした人の投稿内容をチェックすることができる。
Instagram	SNSの一種。写真、動画の公開を特徴としており、写真、動画を必ず添付したうえでの投稿となることが特徴のSNS。

(7) 親子向けエコ料理教室の開催について

●事務局からの説明

昨年度最後の推進行動会議においてエコ料理教室は開催しないこととしましたが、推進行動会議内で継続を望まれる委員の皆様のご意見が多かったため、開催時期等は未定ですが、今年度もエコ料理教室を開催する方向で検討を進めています。今年度の開催について賛成か反対かの決をとります。

⇒反対はなしのため、今年度も開催をすることとしました。

●主な発言

- ・特になし

2. その他

令和元年度 第1回3R実践部会日程

日程調整の結果、6月26日(水)10時より、エコプラザにて開催